

砂防施設により土石流から層雲峡温泉街等を守りました。

～石狩川上流直轄砂防事業～

石狩川上流層雲峡地区は、急峻で脆弱な地形が多く、黒岳沢川や層雲峡小学校の沢など土石流危険渓流が存在することから、豪雨による土石流の発生や土砂流入による土砂災害の防止・軽減を目的に砂防施設整備を順次進めています。

8月23日の台風第9号による大雨に伴い、黒岳沢川や小学校の沢で土石流が発生しましたが、整備済みの砂防施設が効果を発揮し、層雲峡温泉街や地区唯一の避難所である旧小学校における被害の発生を防ぐことができました。

【問合せ先】	国土交通省	北海道開発局	旭川開発建設部
	治水課	課長	一法師 隆充 (ダイヤルイン番号 0166-32-4234)
	治水課	上席治水専門官	吉川 契太郎 (ダイヤルイン番号 0166-32-4247)
	広報官		小林 智也 (ダイヤルイン電話 0166-32-3097)

砂防事業の効果 砂防施設が効果を発揮(北海道 層雲峡小学校の沢・黒岳沢川地点)(国管理)

小学校の沢で発生した土石流に対し、導流堤により流下方向を制御することにより、地区唯一の避難所である旧小学校の被災を防ぎました。

また、黒岳沢川で発生した土石流を堰堤で捕捉することにより、下流の層雲峡温泉街の被災を防ぎました。



